

# ファッション都市に 賭ける神戸の未来

宮崎 辰雄 〈神戸市長〉

畑 專一郎 〈神戸新聞主筆〉

木口 衛 〈朝ワールド会長〉

松谷富士男 〈神戸ベニヤ社長〉

――神戸市が本格的にファッション都市構想にとりくみ  
はじめてから三年目を迎えようとしております。

ファッション市民大学、ファッションフェア、ファ  
ッションバザールなど多彩な行事や催しも行なわれ、K  
F A、K F C、K F Sなどの組織もできていよいよ本格  
的にファッション都市づくりが進められようとしており  
ます。今日は今までの経過を振り返り、これからのファ



宮崎神戸市長

坂野 惇子 〈朝ファミリア専務取締役〉  
森本 泰好 〈神戸地下街朝常務取締役〉  
河野 忠博 〈河野護謨工業朝社長〉

ッション都市への問題点やその進め方などをお話して  
いただきたいと思います。

## ★実績の積み重ねがファッション都市への第一歩

市長 卒直に申しまして、神戸の将来の産業をファッ  
ション産業として育てていくための決め手のようなものが  
なかなかないので、やはりひとつひとつ積み上げていく  
より他に方法がないんじゃないかと私は思うんです。今  
までやってきたものはそれなりに成果を上げています。今  
いますが、それで神戸がすぐに全日本的な、あるいは国  
際的なファッション都市になりうるかといえますと私は  
そう簡単にはいかないと思いますね。ですから各自の立  
場で最高の善をつくしていくことが大切です。

行政の立場としては、神戸の街をどうしようかという  
「人間都市神戸の基本構想」の中にもこのファッション  
都市構想は入っております。その中に「市民生活に直結  
する産業の発展をはかる」という題で、「神戸の雰囲気  
を生かした服飾、工芸などを市民の日常生活のすみずみ  
までいりどる新しいファッション産業を育て、それを支  
える研究・教育機関を設け、企画・生産・流通・商品の



畑 専一郎さん

流れを総合的にとらえたファッション都市をつくる」ということを明確に打出し、それにもとづいて市でもいろいろな施策を行政の面からもやっていこうと考えています。今まで、ファッション市民大学、ファッションフェア、ファッションコンテスト、また東遊園地で行なわれたファッションパザールなど、みなさんが積み重ねておられるものがたくさんあり、その中には若干の批判もある



木口 衛さん

りますが、こういうものにはひとつの定形というものがないのですから試行錯誤をくり返していてもいいように構わないじゃないかと思います。ただこれからの展開が難しいでしょうね。

ファッション産業というのは「創造」が一番大きな要素ですから人材の養成ということでファッション市民大学をやりましたが、これも常設ファッション大学のようなものにもなっていくとなると非常に難しいでしょうね。さらにファッション街区を造ろう、とみなさんご努力されておりますが、これも現実にはファッション街区の土地は公有財産ですから、そういうものを底地として建設するとなると非常に難しい面がありますので、今は第一步を踏み出したところで、私はこれからじゃないかと思えますね。行政面でもこれからでもできるだけの努力をいたしますので、みなさんも新しいファッション都市づくりにご協力をお願い致します。

畑 ボクはファッション市民大学の運営委員の一人としてお世話させていただいてますが、いちばん心強く思っているのは、第一期卒業の方がKFS（コウベ・ファッション・ソサエティ）を結成して活動を始められたことです。待望久しかったファッション都市化の強力な市民団体が市民活動を開始したわけで、市民運動史の先駆例になると思います。

フランスでは輸出の五五%までがファッション商品ですネ。日本もはやくアタマで勝負をする産業の比率をそこまで高めたい。それ以外に日本の活路はないと思いますが、そこへ向う過程としての意味を持つているのが、すでに二回開いたファッション・ショウであり、パザールです。パザールではじめて「取引き」という要素がはいってきましたが、はやく外国のバイヤーがパザールにやってくるようにしたいものですネ。

神戸ファッション都市化の声は、東京や京都、大阪などの他地区にかえって大きい反響を呼んでいます。京都はワコールの塚本さんが商工会議所の副会頭として、さ



つそくファッション特別委員会をつくり、米国の歴代大統領夫人衣裳展を近代美術館に誘致するなど二年さきの企画まで進めているし、大阪は箕面のデキスタイルセンタ―に九十億円で三十階以上のトータルファッションビルを建てる計画を進めています。このままではあとのカラスが先になりそうですネ。関係者はもうちょっとシツカリしていただきたいと思います。

木口 KFC（コウベ・ファッション・シティ）も今事務局長が三名おり、土地取得のために相当額積みたててゐるんです。協同組合のこともあるので、バックングの共同購入とかいろんなことをやってできるだけ負担を小さくして効果があるようにと一生懸命やっています。

昨年の10月に行なわれたファッションバザールは非常にいい企画でしたね。第一回めの催しとしては少なくとも20万人を超える参加者があり、東遊園地一体が非常にファッショナブルな雰囲気につつまれたということは成功だったといえましょう。このファッションバザールは他のプロジェクトと全く性格を異にして、何といっても「ひらかれた場」であるといえます。したがって参加人員も圧倒的に多く、それだけに市民全般にひろくファッションというものを印象づけることができたと思えます。



松谷富士男さん

森本 ファッション都市化の運動が具体化してまる二年ですが、この二年という短期間からみればこの運動の影響力は大きかったんじゃないかと思えます。むしろ神戸以外での影響が大きく、行政がこういうところに手をつけたというのがある意味でもシヨックだったところもあるようで、来年は札幌や福岡でも市の方でこの問題に取りくんてみたいような意向がでていようです。ただ市長がおっしゃたようにこれからは難しいと思います。

一つの問題点は、今までの市なり私達が動いてきたのはなんか主観的な立場で神戸の風土なり歴史がファッション産業にむいているんじゃないか、ということからスタートしてきているわけですが、客観的な条件をもう一度見なおして、神戸をファッション都市にしていくなきに、神戸のもっている得手と不得手をはっきりさせて、足らないものをどうしていくか、あるいは同じファッション都市にするにしてもどういうタイプのファッション都市にしていくなか。その方向づけなどが出てくるんじゃないかと思っています。

ファッション産業というのは私は非常に地域密着型の産業だと思ふんです。最近、政治、経済、文化などあらゆる分野で地域からの発言というのが非常に強くなってきたわけですね。私は新地方主義といっているんですが、そういうところからみてもファッションビジネスとかファッション都市化は大きな時代に沿った風潮があるんじゃないでしょうか。そういう地域密着型の産業ですから何もファッション業界の方だけの問題でなく、神戸の全産業の問題だと思ふので、そのへんのところを神戸の財界の方にもぜひ理解していただき、市民の合意のもとに神戸がファッション都市宣言をできればと思うんですが。

坂野 ファッションをただ衣類だけのものでなしに、市の美化的なファッションというものも考えて、もう少しファッション都市らしい看板の美化運動なども市の方でやっていただけたら、と思いますね。



坂野 惇子さん

河野 ファッションというものはでき上ったものだけを消費者に訴えるのでは弱いと思うんですね。むしろ、モノをつくり出す工程から掘り下げていかないと本当のファッションは育たないでしょうし、一般の消費者もついてこないと思いますね。

ヨーロッパの町を見てみると、たとえばスイスなどでは自分のうちの庭でも掘り返して一週間もほっておくと罰金をとられるそうです。ドイツのある町に行っても、家の表の壁の色はクリーム色ならクリーム色で統一して塗るとか、バリの町でもネオンの色は赤にしてはいけないとかいったキマリがあるようです。ファッションというのは自由と平和の中でないと育たない、とよく言われますが、日本の自由が本当の自由かどうかですね。市の行政でも町づくりをする場合何か一つのスジの通った統一的なものがあった方がいいんじゃないかという気もするんです。めいめいがてんでバラバラの建物を建てていたんでは本当の町の美化にはつながりませんので、やはり最大公約数というものをつかんで、それが五〇年、百年先までも美しい町並で残るような大きなマスター・プランが必要じゃないかな、という感じが常にします。

松谷 神戸のファッション産業というのは東京にくらべ

るとかなり遅れているという気がするんですが、神戸には東京にない、神戸なりの良さがありますので、神戸らしいファッションを育成し、発展させていくことが大切ですね。ですから神戸らしいファッションが生まれる環境づくりを市の行政面からも考えなおしていかないといけないでしょうね。たとえば商店の看板にはかならず英文も入れなければならないといった示唆を与えて、インターナショナル的な雰囲気のある神戸にするのも一つの方法じゃないかと思います。それと消費者との窓口は小売店ですし、小売店はファッション性も強くて神戸の一つの魅力にもなっていますので、小売店の助成などもお願いしたいものです。

小売店の場合は昨年の10月から坂野通夫さんが委員長で神戸の婦人子供服組合というのができましたので、今年からはまとまった活動ができると思います。

#### ★急がれる知識集約型産業への移行

市長 ファッション産業を進めていくためにはファッション文化といったものが底辺になければ育たないと思うんですが、それには行政の主導性も大切ですが、やはり神戸市民の習慣とか風土、規律のようなものが育っていないといけませんね。それから神戸のファッションを考える場合、服飾関係、靴、家具、洋菓子などいろんなものが入っているんですが、それぞれの間にいかに統一的な哲学をもつか、それが私にはまだわからないんです。一つの町のイメージなどは統一したものができるとしても、ファッションの個々のものに統一した哲学、あるいは個別的な哲学をどうつくりあげていくか、そういう基礎的なものをそろそろ考えていかないといけないですね。今までは花火を上げたような格好ですが、この打上げた花火をどうするかをみんな考えて、本当に根のはえたものにしていく必要があると私は思いますね。

それとファッション自身は行政がつくりあげるもので



なくて、市民自身や業界自身がつくるもんだという自覚をもってもらいたいですね。行政自身がファッションの進行をはかるんじゃないで、市民自身そういう土壌をつくり、各業界が自分の属するファッション産業を育てていく、そういう姿でないと魅力ないですね。

畑 この間、韓国の新聞研究所の招きで新しい新聞づくりについてゼミの講師をつとめてきたんですが、最近の韓国はどんどん日本を追っかけてきてます。

蔚山の現代造船所など三百万坪近い面積で百万トンカーのつくれる新設備も完成が間近のようでした。おそらく世界一大きい造船所だと思います。川崎汽船が注文した二十三万トンカーも出ておりました。

かと思うとお隣の浦項では、これまた三百万坪近い製鉄所が一千万円でできたというてました。いまの日本なら五千億円もかかります。そこで考えさせられたんです。くしくも神戸は造船と鉄のマチで、それでいままでも市民が生活してきたのですが、いつまでいまのままでおられるだろうか。

やはり、重工業都市から知識集約産業都市への移行なり成長を考えないと、時代から取り残された神戸になるおそれがあるように思います。



森本 泰好さん

森本 私が今一番ほしいのはサロンですね。情報というのは異質の頭脳から栄養をとって成長していくわけですからどうしても頭脳と頭脳が触れあう場があるわけですからサロンができていろんな業界の人、文化人がそこで触れあい、その中から神戸のファッションというのがだんだん密度を高くしていくんじゃないかと思えますね。

松谷 サロンのようなものはぜひほしいですね。

木口 ところでポートアイランドの利用計画についてですが、あちこちから神戸にファッションの人工島ができるそうだがわれわれも参加できるのかという問合せや申込みが非常に多いんです。KFCでは今、ポートアイランドにこういう形態のものをどういうふうにつくるかというプランを作製中なのですが、これを神戸だけでなしに日本のファッション基地にするために、神戸以外の日本の優秀企業も入れてもいいということであれば他都市の企業も誘致したいと思うんですがこの点はいかがでしょうか。

市長 神戸以外の企業を入れてもいいと私は思います。

ただそれだけの力と神戸の将来にふさわしい業績をもつものでないといけませんかね。

私達がいつも仕事をする場合に、物事をなかなか具体的にできないのは、たとえば、こういう計画をしていてファッション街区に五万坪いるといわれても、それが現実には一万坪でよかったとか、二万坪でよかったとかいうこともあると計画がくずれてしまうんです。ですからいつも流動性のある考え方をとらざるをえない立場にあるんです。だからむしろこれだけのものがどうしても要るんだということを決めてもらえばそれに合わせるような方向へいけると思うんです。はじめからおよそ五万坪とか三万坪とかいわれてもそれだけの実証がないですからね。実証がないとそのまま受け入れるわけにはいかない。町づくりの最終的な責任は市がかぶらないといけないので、私達はみなさんの考え方を参考にしながら市



河野 忠博さん

独自で、仮にその方ができなくてもうちはこれをするんだというものは片一方でもっているわけです。

**木口** 会館をつくるにしても神戸の業界だけでなしに、日本の一流企業をよんでそれにも参加してもらえばかなり思いきったプランづくりもできるんですよ。

**畑** 今、市の調査費で神戸式ファッション度の調査方法というのを研究してるんですが、これがファッション度だけじゃなくて、日本における学問的な初めての総合レポートになると思うんです。

いまひとつ、神戸と大阪の問題ですが、神戸が大阪と勝負をしても、地下街ではどうしても資本に負けがちになります。結局神戸は地下でなしに路面で勝負することを考えないといけないと思うんです。さいわい最近元町が赤レンガになって人が集まり始めたようですので、そこを西の起点にし、三宮を東の起点にして移転予定の生田署あとなどピロティ式建物にし、東遊園地とつなぐような構想でいけば神戸の特長が出せるんじゃないですか。

**森本** 神戸と大阪を比較した場合、神戸のもっている一番いい点は一軒一軒のお店の問題じゃなしに町全体の雰囲気なんです。これは梅田にはないわけです。神戸は上

手にやれば元町から三宮まで路上のそういう雰囲気はつくろうと思えばつくれますから、これができたら梅田に負けないと思いますね。

**河野** 私は長田地区で仕事をやってよく感じるんですが、ファッションというものが一般の市民からはかけ離れたもののように考えられがちなんです。実際に身体を張って働いている人達の努力とかモノをつくる価値を認めた上にファッションがあるという考え方に立って進めていただかないと何かうわついたもののような感じを与えますし、神戸全体がファッション都市として成り立っていきにくいような感じがしますね。

**市長** 市民からうき上ったファッションではだめですね  
**松谷** 市民とファッションとをいかに結びつけるかという事です。あらゆる業界がファッションの方を向いていくムードをつくらないといけません。

**木口** いろんな業界の方が声をあげてほしいですね。

**市長** 市としては今まで進めてきました施策はこれからもつづけていくつもりです。

ファッション度調査もとりにかかっていますのでそういうものからファッションの哲学づくり、方向、施策などを確立し、新しいいろんな試みをやってさらにその時点から前進していくことを考えたいと思います。これにつきましては、みなさんからできるだけ知恵を出していただいて、それを市が助長していくような姿をとりたいと考えています。

市民のみなさんの神戸を愛する気持というものが神戸らしいファッションを育てる基礎だと思いたすので、みなさんにもひとつよろしく願いたします。

△オリエンタルホテルにて▽

おめでとう赤ちゃん



渋谷絵美ちゃん／芦屋市朝日ヶ丘町

完全看護★冷暖房完備★病院前駐車可能

芦屋柿沼産婦人科



芦屋市大柁町1番18号  
国道芦屋川電停東50米(明治生命南)  
☎ 芦屋 (0797) 31-1234 代表

# 幼児歯科 小児歯科

## SAMOTO PEDIATRIC DENTISTRY

佐本小児歯科

### 母親教室

(初診日)

火曜日 午前10時

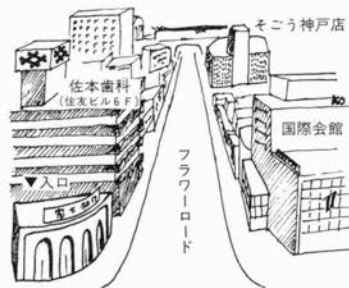
金曜日 午後2時

(木曜日は休診)

そごう前センター街東角・さんちか入口  
住友銀行三宮ビル6階

〒650 生田区加納町5丁目39

TEL (078)331-6302~3





# 世界の福祉施設

—— 欧米の心身障害者を訪ねて ——

橋本 明著 <カラー8ページ、本文320ページ、定価 1000円>

送料 200円



●福祉時代の幕開けです。あなたも一冊ぜひどうぞ！

## 主な内容

- 神戸からシアトルへ
- クライシス・クリニック
- グッドウィル・インダストリーズ
- 里親発見活動
- フォースター・グランドペアレント
- ファースト・アベニュー・サービスセンター
- ボランテア・ビュロー
- 病院におけるボランテア活動
- レニア・スクール
- アメリカのグループホーム
- 社会福祉とPR活動
- 砂漠の中の老人の町
- ボーイズ・タウン
- パーキンス盲学校
- スポック博士の子供博物館
- アビリティーズ
- ロンドンのバーナードホーム
- 奇蹟の町・ルドを訪ねて
- コペンハーゲンの老人の町
- ベートル——西ドイツの障害者の町(ドイツ)
- ヘット・ドルプ——未来を拓くオランダのコロニー(オランダ)

各書店で好評発売中！

振替口座 神戸四五一九六

お申込みは月刊「神戸っ子」編集部まで。神戸市生田区東町113の1 大神ビル8F TEL(331)2246



# 神戸へやってきた ドロテビス

ニッポンのブティックは  
シーズンカラーが  
ありませんネ!



オールスタイルで。左から2人目が岡原嘉代子さん、ムッシュ・  
ジャコブソン、浜井さん、山中専務



「神戸っ子」を見る  
ムッシュ・ジャコブソン

まあ、い鼻眼鏡、モジャモジャ頭、チエツクのウールシャツに、モニック風な上つ張り軽く着たムッシュ・ジャコブソンは、オースタイルKKの神戸本社に、ユーモラスな絵になるおじさまという出立で現われた。  
今、パリのブティックで「ドロテビス」といえばバリ七人衆の一派としてユニークな存在。「ドロテビス」は、ジャコブソン夫妻のブティックであり「ドロテビス」は、そのお嬢ちゃんの名前からつけられたという。

来日は二度目。東京、大阪、K O B E と廻ったムッシュ・ジャコブソンは、「ドイツ、アメリカから東京につくと、非常に東京がファッショナブルになっていましたネ。全然差がなくて、アメリカのマスファッションにくらべたらずつといい。」

この10年間で、ファッションはとても変わりましたよ。前は、モデル(パターン)、素材、カラーという時代だったが、今は、カラー、素材、パターンだと思う。ここ三年は特に女らしい、上品な、シンブルな傾向になってきていますね。

日本人のデザイナーの、高田賢三や三宅一生もとてもよくやっている。でもまだ日本人は色のコントラストでみせようとする。日本の色の伝統があると思うのだがそれがまだ使われていないんじゃないかな。

パリのデザイナーは、色に対する深さ、ハーマニイの美しさを追っている。

「ドロテビス」も、色のパリエーションの美しさを見てほしい。いいものをいい人に。ソフティケイトされたニットを楽しんで下さい。今度は、原宿や六本木のブティックを歩いたのだけれど「シーズンカラー」が日本のブティックにはない。色目があればこれも充分すぎますね。」とチョッピリ批評して立ち去った。

'75 Spring & Summer

# ギャツビーの女みたいに

1930年は はるか昔じゃなくなった

■昔の女というのは、現代の彼女らを超えてもっと女っぽかったものであろうか。女らしさを連呼する今のファッションが1920年、1930年の女を模倣し、クラシカルの得たり顔の復活をみると。ハイヒール、タイトスカートから伸びた足、華奢な帽子、肩をおおうギャザー…ガルボを気取って、デートリッヒの気分で、自由な女の演出。

■ほっそりながーく、しなやかな体軀を誇らしげに、背をぴんと伸ばしてスリム&ロング。あるいはビッグ&ビッグ。自然な色あいの木綿をたっぷり使っただぶだほの身頃、フレアの量感のなかで体を泳がせて。

■甘くやさしい、春の霞を通してみた野原の花のような…淡いすみれ色を含んだグレイ、グレッシブブルーアイボリー、セージなどファッションカラーのグレッシトーンとはグレイを滯びた色のこと。頼りなげなあいまいさがなんともいえず……。

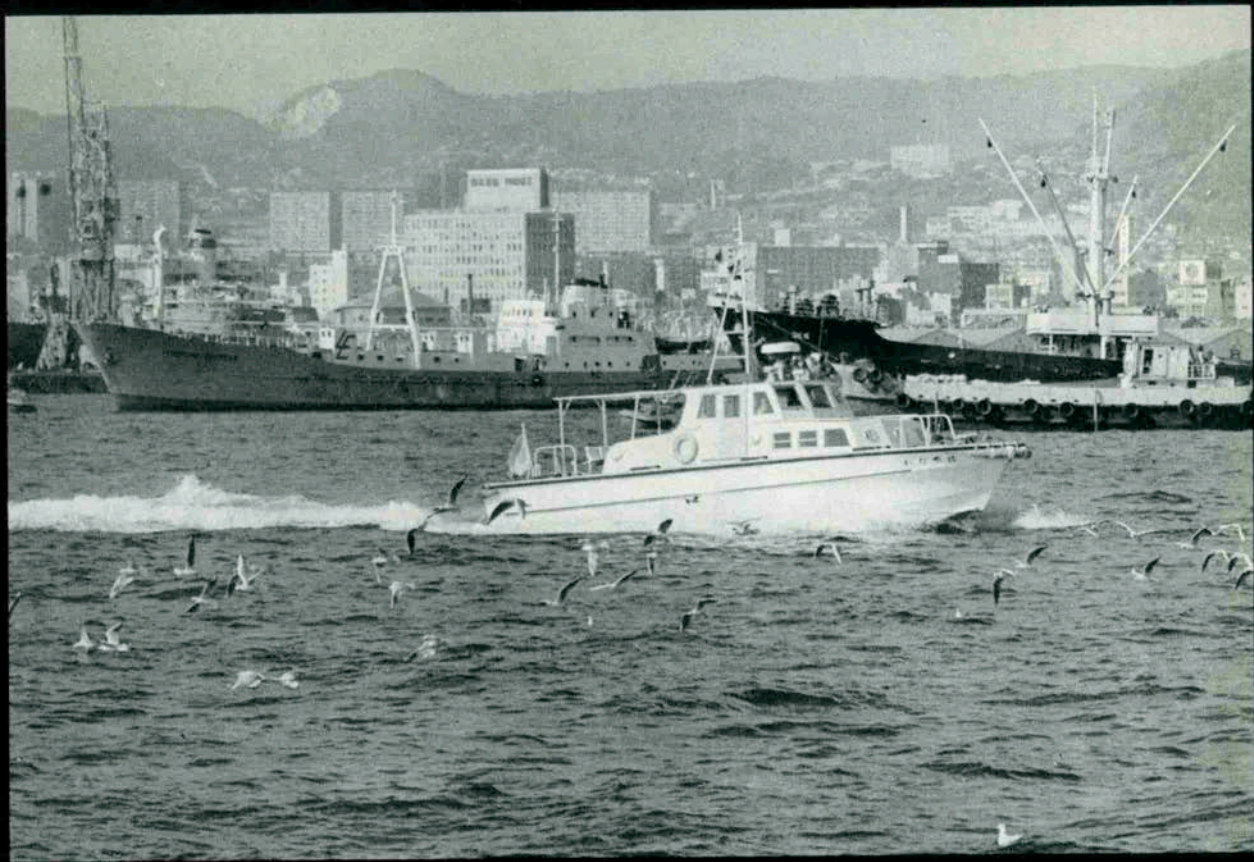
■花柄プリントの花盛り、古い壁紙にあるようなタピストリーパターンセザンヌ、モネ、マチスなど絵画の影響を受けたもの…今年のパターン。

オールスタイル「エミレーター」より

PHOTO ドロテビス'75春夏コレクション







# 神戸景 百73

カメラ  
小山 保

## 港からみた 神戸

米花 稔

（神戸大学教授）

神戸に住み神戸を描くこと  
に終始された川西英氏の  
回顧展を大谷美術館にみた  
あと、この「港からみた神  
戸」を前にいささかの感慨  
にふけた。この写真に二  
重うつしに、一〇〇余年前  
の背山と松並木と海辺の砂  
浜の間に洋風建物の点在す  
る姿がうかぶ。

兵庫につづく寒村に、開  
港とともに、海外から全国  
各地からそして地元の人々  
がよりあって、ほこりっぱ  
く汗にまみれたみなとまち  
が、いま眼にするよそおい  
まで、仕事とくらしのなか  
でつくりあげたこの一世紀  
を想い、そしてこれからの  
世代の人々の営みのなかで  
どのように推移するのであ  
ろうかと、思いをはせるの  
である。



# 湊川神社

## 能楽殿

藤井久雄

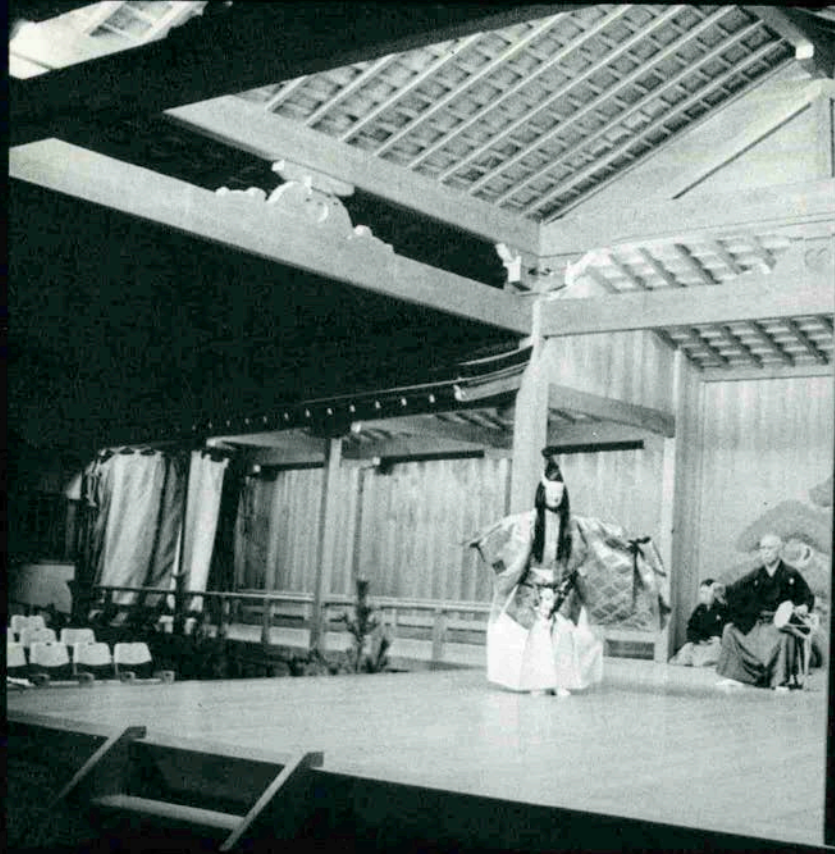
〈能楽師〉



湊川神社鎮座百年祭を機に建設されたこの舞台は、県市および奉賛会、鹿島守之助氏、能楽関係者並びに全国的な愛好者のご支援により完成したもので、設計者の言葉によると、

「簡素ではあるが、演ぜられる能および能舞台を中心として引立てるよう、形、色彩とも抑え、清浄さと重厚さ、中空に張り出した廻り廊による緊張感とリズム感を表現した」

とある。特に舞台は観世流宗家の由緒深い本舞台をそのままいただいたもので入母屋作り檜皮葺の屋根の優雅さ、舞台の框釘隠しの金具や棟玉板の浮彫りには観世家の家紋「矢車」が使用され、贅沢だといわれる程の白州の広さ、またロビーには棟方志功画伯の超大作「御鷹巖図」が威風あたりを払い、質実剛健の中に豪華さが溢れ、まことに神戸の新名所、他都市垂涎の舞台である。





# 花隈

小林芳夫

（株ミドリ十字取締役社長）

## 戸景 神百

75

花隈の通りの坂や大筋は戦前とあまり変化はないようだが、家並や建物の構造が変わって、例えば、料亭の和風の格子戸が洋風建物の間におしつめられたり、大きなマンションが建てられたりしている。

「雨の降る夜に花隈を、傘もささずにとぼとぼと、こんな待たす気はないが、出るに連れられぬ座敷ゆえ」なんて小唄の「とても帰る」の替え唄を、口ずさむような情景を、思い出させる花隈ではなくなったようだ。





## 長田神社

君本昌久

（詩人）

長田は古くから長田神社を中心にあつた。祭神の地は、もと天神山に創祀されたと伝えているが、降って幕末の頃の面影を刻む、境内の「長竜石」の事も、「鶏のお宮」にふさわしく、親しみをおぼえる。しかし毎年二月節分の日に行われる追儺式でよく知られている。一番太郎・赤鬼・青鬼・呆助・姥鬼・餅割鬼・尻くじり鬼の順に、七匹の鬼が須磨の海で戯し、やがて、かがり火と宝剣をもって踊る古式神事は圧観である。それから春がやってくる。

戸景  
神百





ここ  
の  
え  
ざ  
か

九重坂

（俳人）

私の家からごく近い散歩コースのひとつである。阪急御影駅のすぐ北にある深田池のほとりを西へまがると、左手に小原流芸術参考館の門がみえる。開館シーズンには、ここに入って中南米の土俗的なコレクションや仏像などと対面して、頭脳を洗い、そしてこの坂をのぼってゆく。右手は、荒らされていない松林が美しくつづき、幽邃の気がただよってこのましい。さて九つに道がまがっているかどうかたしかめたことはないけれど、いままある程度は曲がっている。鴨子カ原へ巡回するバス道路でないころは、まったくしずかではなかった。雪が降ると、車はいまも動かない。風致のある坂とは、歩いてゆくものなのだろう。

戸景  
神百 77





# 戸景 神百

78

## 六甲山 人工スキー場

野田忠二郎

（阪神電気鉄道株式会社取締役社長）

人工雪といっても、スノーガンで噴射した水を0℃以下の空気に触れさせると、信州なみのキメの細かな良質の粉雪が得られる。

雪の降ることも珍しい神戸で、手近にスキーが楽しめるのとあって、シーズン中は12万の若者や家族づれでゲレンデはにぎわう。

圧巻は夜のスキーである。黒くしずんだ神戸の街のきらめきを真下に、冬の六甲もいものである。

幼稚園の園児たちが、先生につれられて、雪合戦や雪遊びにたわむれる光景もときに見られる町のスキー場である。



*Mademoiselle  
de  
Rose*

やっぱり神戸が大好きです

**三村尊代さん**

〈神戸女学院大学在学中〉

ICYE交換留学生として去年の八月までアメリカ暮らし、でも「やっぱり神戸の街が大好き」と語る三村さんは、素直でやさしいお嬢さん。英会話はもちろん得意ですが、この春からは織り物を始めたいそうです。日本舞踊をやっていたので着物もとてもよく似合う神戸らしいお嬢さんです。

— Bonheur —  
**ボンヌール字兵室**

児 島 寛 二

神戸市生田区下山手通2丁目1-2  
TEL331-3668・7034 生田神社前



beauty salon

*blue* akira

西野 明

神戸市生田区北野町3丁目65ノ3

9:00am~6:00pm ☎221-9080

*rose*

akira

西野美子

神戸市生田区三宮町2丁目35

10:00am~6:00pm ☎331-4461



新しい春

西野 明 〈ヘアデザイナー〉

なにげないショートヘアだからこそ、カットのよしあしが決め手。個性を生かしたショートスタイルはかえって難しいもの。前髪をハネて明るい感じに——。

モデル／富田純子さん〈甲南大学英文科1回生〉

あきら  
の  
新企画

●ローズあきら（三宮本店）では毎週水曜日、木曜日の二日間ヤングを対象に腕をみがいた若い男性スタッフ三人が担当いたします。（この日西野美子はブルーあきら担当）。料金も気軽にいたしております。ぜひお立寄りください。9:00am~6:00pm。

●水・木曜日の新料金

シャンプー800~1,000円、セット1,200~1,500円  
カット1,500~2,000円、コールド(ワンコース)4,000~5,000円  
ヘアダイ4,500~5,000円、マニキュア1,200円

## 京友禪

きらびやかに、繊細に染めあげられる友禪。何百年もの伝統に支えられ、完成された美しさを。  
 ◆柄は、御所解・のしめなど。



## 江戸小紋

小気味よい、すっきりした味わいの江戸小紋。染め色によって、年代を問わず着られる魅力を。

◆柄は、鯨・七宝・さや型など。



\*大丸オリジナルで白生地からの別染めです。

●京友禪きもの(現反).....58,000円から  
 ●江戸小紋きもの(現反).....48,000円から

4階●特選きものサロン



DAIMARU  
 もとまち  
 TEL 078-331-8121(代)



艶やかな新春の集いに

東西を代表する染めの粋

